

令和5年度第1回（第58回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 令和5年7月7日（金）

13時25分～14時40分

場所 浜田市役所本庁舎4階 講堂ABC

[進行／行財政改革推進課長、会長]

◆ 開会（13時25分）	
行財政改革推進課長	<p>ご案内しておりました時刻になりましたので、只今から、令和5年度第1回浜田市行財政改革推進委員会を開会します。</p> <p>委員の皆様には、本日は、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は事務局を務めます、行財政改革推進課長の湯浅です。</p> <p>はじめに、この会議は公開で行いますのでご承知おき願います。</p> <p>なお、本日はオンライン傍聴の申請はございませんでした。</p> <p>それでは、開会に当たり、光延会長からご挨拶をお願いします。</p>
1 あいさつ	
光延会長	<p>本日は任期最後の会議です。報告事項が多いですが、遠慮なくご意見をいただきたいと思えます。よろしくをお願いします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございます。続きまして、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>本日お手元に、レジメ、出席者名簿及び資料3をお配りしています。また、先般、事前送付しました資料1、資料2-1及び資料2-2を持参いただけましたでしょうか。資料があるかご確認ください。資料がない場合においては、お持ちいたしますので、申出いただきますようお願いします。</p> <p>次に、本日の欠席者をお知らせします。</p> <p>レジメの裏面、2ページの「浜田市行財政改革推進委員会 委員名簿」をご覧ください。名簿6番の上野委員、名簿11番の細川委員、名簿12番目の大屋委員、名簿13番の岡山委員及び名簿17番の介見委員が所用のため欠席されています。</p> <p>次に、市職員につきましては、3ページに「浜田市行財政改革推進本部幹事名簿」を掲載しています。本日は、教育長及び財政課長が欠席しています。</p> <p>なお、名簿の備考欄に“こめじるし”で記載のとおり、一部職員はテレビ会議システムにより参加しております。</p> <p>また、職員は4月異動で一部変わっていますので併せてご確認くださいようお願いします。</p>
行財政改革推進課長	<p>それではここで、前回の会議の内容と本日の協議内容を確認いただきます。</p> <p>前回は、令和4年12月27日（火）にお集まりいただき、「浜田市第2期公共施設再配置実施計画 令和4年度別冊について」及び「附属機関等の見直しに向けた進捗経過について」を議題とさせていただきました。「公共施設再配置実施計画 令和4年度別冊」につきましては、推進委員会でいただいたご意見等</p>

	<p>を踏まえ、12月に策定し、公表しております。また、「附属機関等の見直しに向けた進捗経過」においては、附属機関等の現状をご報告するとともに、指針の改定についてご説明させていただきました。</p> <p>本日は、議題を2件予定しています。1件目は、毎年進捗状況をご協議いただいております「浜田市行財政改革実施計画 令和4年度実績及び令和5年度計画（案）」についてです。2件目は、「附属機関等の見直し（案）」として、会議体ごとの見直し方針等について報告させていただきます。</p> <p>会議時間は、最大で1時間30分程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、以降の議事進行は、光延会長にお願いいたします。</p>
2 議題 (1) 浜田市行財政改革実施計画 令和4年度実績及び令和5年度計画（案）について	
光延会長	<p>それでは、協議事項(1)に移ります。</p> <p>「浜田市行財政改革実施計画 令和4年度実績及び令和5年度計画（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料1について説明)
光延会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の皆さまからご意見、ご質問をいただきたいと思いますので発言される方は挙手をお願いします。</p>
高橋委員	<p>8ページの協働のまちづくりの推進について、B評価となっています。設立支援ということですが、実績を見ると1件も設立できなかったということになっていると思います。現在、どのくらいの数が未成立なのか、数を教えていただきたいことが一つと、令和7年度までの目標を90%としていますが、100%ではないのでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>今回、B評価としていますが、設立を進めていた団体が4月にずれ込んだことにより、現時点では82.3%となっております。限りなくAに近いBだと思っただけだと思います。まちづくり推進委員会がどういった単位で設立されるかといったことがありますので、未成立がどのくらいということをお示しすることは難しいですが、全体の組織率は現時点で82.3%となっています。引き続き記載のとおり6地区、特に旧浜田市内の4地区について話を進めているところです。また、目標につきましては、最終的には100%でございますが、中々設立が難しく現実的な目標として設定しているところでございます。</p>
高橋委員	<p>実は現在、設立準備会を作って設立に向けて頑張っております。来年4月には何とか設立をしたいと思っておりますが、地域の方への意識啓発のため、市から住民へ向けて、何か広報などで協力をお願いできないでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>広報でその地域を名指しするというには中々なりませんが、職員が設立支援ということで地域をお伺いする機会も多数あるかと思っております。そうした際に、ほかの地域での活動事例集も作っておりますので、どういったイメージのものを目指しているのかはつきりさせて、できるだけ地域の方にお分かりいただけるような支援をしていきたいと思っております。</p>
宮本委員	<p>関連しまして、協働のまちづくり推進の令和5年度計画について、職員研修について書いてあります。令和4年度にもまちづくりセンター職員へ研修をさ</p>

	<p>れたかと思いますが、まちづくりセンターの評価についてのアンケートを見たところでは、センター職員さんへの研修はあまり意味がないというような答えもあったように思います。令和5年度はどのような形での研修を考えられているのかお聞きしたいと思います。</p>
地域政策部長	<p>ご存じかと思いますが、今年度、まちづくりセンターや総合交付金など色々なものの検証に充てる年度としております。今後市民アンケートなどの調査を行い、課題を見つけたうえで改善していくようなことを考えております。そうした中で、研修についても、社会教育など幅広く研修項目がありますが、研修のやり方の部分かと思えます。まちづくりセンターの勤務がある中で、研修にご参加いただいているということもございますので、できるだけ効率的に、実りのある研修をしていきたいと思っておりますので、今後検討していきたいと考えております。</p>
宮本委員	<p>もう1点お聞きしたいのですが、20ページのマイナンバーカードの交付促進について、令和4年度末で78%となっています。マイナンバーカードについてはニュース等でいろいろと問題が起きているのが見受けられますが、普及率は100%を目指さないのでしょうか。</p>
市民生活部長	<p>できれば100%を目指すべきだと思えますが、高齢者や施設に入所されている方については、国においてもどのように進めていくか示しきれていないところがありますので、今のところ除外をしております。そういったところを除いて、できるだけ多くの皆さまに使っていただけるよう進めていきたいと考えております。</p>
中島委員	<p>マイナンバーに関連しまして、評価項目は普及率ということで立派な成績だと思います。少し聞きにくいですが、マイナンバーの紐づけでエラーが出るという話がありますが、浜田市においてそういった事案があったのでしょうか。</p>
市民生活部長	<p>今のところ口座の紐づけが間違っていたといったことはありません。</p>
浅浦委員	<p>ふるさと寄附の推進について色々調べさせていただきましたが、ふるさと納税特設サイトの中で、石見神楽等の伝統芸能の継承に関する事業ということで寄附額等が書かれています。色々な事業に使われたかと思いますが、その内容と支出の累計金額が分かれば教えていただきたいと思えます。</p> <p>また、ふるさと推進の中に本年度の46事業というものが計上されていますが、その中に三桜酒造跡地の活用事業というものがあります。これに関連して、跡地取得ではかなり急がれていたような感じがしまして、また一部の部署で協議されて進められていたように私は受け止めてしまっているのですが、その辺りの内容をお聞きしたいと思います。</p>
産業経済部長	<p>まずふるさと寄附の用途について説明させていただきます。ご質問のありました石見神楽等の伝統芸能の継承に関する事業の支出合計につきましては、平成30年度から令和4年度までの5年間で約9,000万円でございます。内容につきましては、まず石見神楽のパフレットや出張上演の委託などの石見神楽振興事業、各神楽団体の衣装等の更新や新調を支援する日本遺産石見神楽保存・継承支援事業、昨年7月31日に東京国立劇場での公演を行いました国立劇場公</p>

	<p>演事業、毎週土曜日に三宮神社での夜神楽を開催する石見神楽定期公演推進事業などに支出しているという状況でございます。</p>
都市建設部長	<p>三桜酒造跡地の活用事業について、土地を取得した理由と一部だけで話が進められた理由についてご質問いただいたかと思いますが、現段階で浜田市が土地を取得するということは決まっておりません。昨年、地権者の方から市による有効活用をご要望いただき、早期に売却したいというご意向も示されたところでございます。市長、副市長、庁内の関係部署及び市の外郭団体であります土地開発公社で整理したうえで、市として活用を前向きに考えていきたいという方向性を、昨年8月に議会へ説明し、一定のご理解をいただきながら進めたところでございます。その後、地権者と交渉を重ねながら、合意を得られたということで3月の議会へ報告しております。議会に賛同いただいたこと、また浜田駅周辺の賑わいの創出を目的とした事業用地として確保していきたいということから、まずは土地開発公社で先行取得するということを決めました。土地開発公社で取得しているわけですので、その後市が買うかどうかということは、これからの検討委員会にて色々な方からご意見をいただくという状況でございます。ご存じかと思いますが、現在ダブプスがあります土地につきましては、以前まとまった土地ということで、開発公社で取得を行い、民間に購入いただき活用していただいているというような状況もございますので、土地の利用については今後判断していきたいと思っております。</p>
浅浦委員	<p>今言われた土地の取得というのは、公法に基づく取得になると思いますが、相当の公共性や公益性を有する目的のために使用されるべきと書かれています。検討事業の中で、石見神楽の活動拠点とするといった意見を求めるような計画で書かれていますので、すでに定まっているのかなと見受けられます。あいまいにせず、こういったものを建設したいと前面に出された方が良いのではないのでしょうか。また、検討委員会の意見だけでなく、説明シートによると市民参加の実施は無しとなっていますが、パブリックコメントや市民アンケートの結果をぜひ反映していただきたいと思っております。</p>
副市長	<p>ただ今部長も申しましたように、今年のちょうど今頃、地権者の方が民間に売却するという事で準備をしておられました。そんな中、売却をされたいという情報が入りまして、駅前の非常に良い場所であり、駅前周辺を活性化するうえでふさわしいものを作ってほしいということで、地権者の方と話をしましたら、市の活性化のために使っていただけるなら優先的に市と交渉させていただくということでしたので、急遽市が手を挙げて、土地開発公社で取得するということを決めました。浜田市では50を超える神楽団体があり、石見神楽も浜田が中心だということ、神楽産業をPRする施設が欲しいということで、この跡地を神楽のことも前面に出したらどうかということが議会からもありました。そこで先般、第1回目の検討委員会がありました。市長から1つの案として、神楽の展示や三宮神社が老朽化しているのでその代替も考えられるということをご提案させていただきました。当然それ以外のことも含めて検討していただきますが、今年中に4回の検討委員会での意見をとりまとめます。その中で、</p>

	パブリックコメントや市民アンケートなどを行いながら進めていきます。
三浦委員	22 ページの新たな人材育成基本方針等の策定について、浜田市に勤めて一生懸命働こう、浜田市の発展のためにつくそうという気持ちを持って浜田市に就職された若い人材が、何らかの理由で辞めていかれるというケースをお聞きしております。浜田市にとっても若い人材が辞めていくことは非常に残念なことだと思いますが、最近の傾向としてどういう理由で辞められるのか、そういう問題に対して浜田市はどのような対策をされておられるのかお聞かせいただきたいと思います。
人事課	おっしゃるように、早期退職の方が多くなっていることは把握しており、退職される職員につきましては、人事課で全員にお話を伺っております。そういった中で、ある程度の年齢になり、一つの節目という形で地元に戻り改めて就職したいという方、自分の夢を持っておりチャレンジしてみたいという方、自分の働き方と市役所の仕事が違い、ライフスタイルに合った形で再度就職を考える方といったことが多いかと思っています。早期退職の方に対しての抜本的、効果的な対策というものは現状中々見いだせていないのが現状です。これは、県内他市であったり、島根県であったりどの自治体も同じような状況だろうと感じているところです。浜田市でも職員の皆さんへ退職までしっかり勤めていただきたいという思いがありますので、若い方がどういったことを求めておられるかといったことも把握しながら、安心して自分の力が発揮できるような職場となるよう考えていきたいと思っています。
三浦委員	全国的にもこういう傾向があるということですが、市役所は働き甲斐のある気持ちの良い職場だという風土を培っていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。
2 議題 (2) 附属機関等の見直し (案) について	
光延会長	それでは、続きまして議題(2)に移ります。 「附属機関等の見直し (案) 」について、説明をお願いします。
事務局	(資料2 について説明)
光延会長	ただ今、説明がありました。 それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問をいただきたいと思いますので発言される方は挙手をお願いします。
三浦委員	資料中に女性参画率の向上に努めるという記載が何か所かありますが、その審議会については女性委員がいないということでしょうか。
事務局	おっしゃるように0人のものもありますが、10人以上の審議会では女性参画率が10%以下を基準として、特に取り組む課題ということで注記をさせていただいております。
三浦委員	10%未満ということですが、女性委員を何人にするといった数値目標といったものは、これから掲げて取り組んでいくのでしょうか。
事務局	先般ご審議いただきました指針においては、市全体の目標を4割としています。例えば団体推薦の際に、委員の方に女性を推薦していただくというような取組を進めることで、女性参画率については高めていきたいと考えております。

石川委員	今の経過を見ますと、昨年の7月から始まり12月に洗い出しが終わったということだと思います。今年度になってあり方検討会を立ち上げた任意協議会もありますが、ゴールはどこに置かれていますか。
事務局	個別の任意協議会に関しては、ゴールは定めていません。地域によってはその審議会が必要だというようなご意見もある中で、一律にここまでに見直ししてくださいということは決めていません。
石川委員	皆さんに任せるのではなく、例えば令和5年度の3月までに存続や廃止、統合するということを決着付けるという指導はできないでしょうか。
事務局	進捗状況に関しましては、毎年照会をかけていく予定としていますので、その中で見直しが進んでいないところなどは、検討しながら進めてまいりたいと思います。
石川委員	今年度中にはできないのでしょうか。
行財政改革推進課長	明確に今年度末といったことは中々申し上げられないと思っております。これはあくまでも過渡期という形になりまして、それぞれ目標を持って見直し案を定めたところがございます。それぞれの協議会の状況がありますので、今年度末や来年度末に統廃合するということに期間を定めることは難しいですが、この目標に向かってそれぞれ調整をしていくような形になるかと思っております。
石川委員	統廃合ありきではなく、当然地域に必要な組織は存続するということも含めて決定ですが、何年かけるという話でしょうか。
副市長	本日資料をお示ししまして、附属機関については、今年度条例改正を行います。それ以外の任意団体についても、色々な協議会の状況をしっかりお示ししながら、一区切りつけていただくようお知らせしなければいけないと思っております。たとえ現状維持ということ今年度決められたとしても、他の団体の状況を受けて、現状維持を見直すということは当然出るかもしれません。本日の資料が最終的にこれでいこうということになれば、これを目安として各団体へ情報共有しまして、次に行けるようにしていければと思います。
光延会長	このことに関しては任期の問題もあると思いますが、基本的に任期は2年ですか。区切りと任期が重なっている場合、仮に整理しようと思っても、今年任期が開始していれば2年先になるかと思っておりますので、そういったことも考慮する必要があるかと思っております。
高橋委員	地域協議会の開催頻度についてですが、地域によって開催頻度がなぜ違うのでしょうか。
地域政策部長	地域によって、議会ごとなど節目を決めておられるところもあれば、ある程度まとまった形で開催するということもあり、今のところ統一的なものはございません。
石川委員	まちづくり推進委員会の設立推進というところで、既存のまちづくり委員会に現役の市の職員さんがどれだけ参加されているか、もしくはOBの方がどれだけ参加しているかということを、各まちづくり委員会で人数が分からないでしょうか。どういうことかということ、まちづくり活動には色々な分野がある中で、

	<p>現役、OBの方が一緒になってやっておられるところはかなり充実すると思います。お名前を出してくださいとは申しませんから、この地区にはこれくらいの現役の職員の方と退職者の方がお住まいで、その方が何名まちづくりに参加されているかデータを出していただきたい。そうすると濃淡が出てきます。この地区は市の職員さんが一緒になって活動されて、かなり前に進んでいるということが分かると思います。まずはそのデータを出していただいて議論をしたいと思います。</p> <p>もう1点、14ページの給与水準の維持ということで、職員さんは高給取りで有名です。いつまでたってもラスパイレスと類似団体との比較で、島根県の人事院勧告も、50人以上の事業所200社くらいの平均給与を見ているということになっています。そういったデータは公正なものであると思いますが、例えば、浜田市の商工会の15人から20人くらいの事業所のデータを1回とってみたらどうでしょうか。市民の感情と乖離があるのはそういうところです。比較対象として、中小企業の数字を出してみることは可能でしょうか。</p>
人事課長	<p>市内の事業者との比較はまた検討してみたいと思いますが、補足としまして、基本的に市職員の給与をどのようにするかは法律の中で決まっています。国の人事院勧告にならって市も設定するということが、地方公務員法にありますので、市だけ単独で違う給与とすることは難しいということをご理解いただきたいと思います。国の人事院勧告につきましても、基本的には民間の給与水準等を見ながら決めており、国の給与水準にあわせて地方公務員が決まるという構造がございます。</p>
地域政策部長	<p>まちづくり推進委員会ごとの人数に関してですが、どこかの時点というところで状況は把握できるのではないかと思います。今全くデータを持っていませんが検討させていただきます。特に元職員の方についてはどこまで調べられるか確認させていただきたいと思います。</p>
豊田副会長	<p>3点ほど意見させていただきます。</p> <p>まず、行革を進めていくうえで、今後クオリティのチェックといいいますか質の確保といったところが必要かと思いましたが、団体数など数字も大切ですが、それによってどう変わっていくのか、行うことによってどのような効果があったのかということを考えて指標を設定していただければと思います。</p> <p>2点目が、よくできたところの情報共有を行っていただきたいと思います。行革の事業もそうですし、議題2番目の附属機関の集約においては、よくできた、もしくは楽になっている地域があれば、積極的にPRして、集約化を進めていただきたいと思います。</p> <p>3点目が、オンライン化やデジタル化において集約化が進んでいくかと思いますが、今は行政の中でのDXが進んでいるかと思えます。今後市民が使う立場になっていきますので、できるだけ内容を集約化し、使いやすく参加しやすいようなプラットフォームを作って効率化を進めていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
小松原委員	<p>まちづくり推進委員会に関してですが、地域によって人数もメンバーも全く</p>

	<p>違った組織ができると思っております。地域によっては農業もあつたり山もあつたりしまして、弥栄の場合は範囲が広いですので、行政の方も当然入っていただかないと上手くいかないと思います。ぜひ一緒に活動していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
地域政策部長	<p>確かに地域性というものもあるかもしれませんが、やはりその地域にお住まいの方はそういった地域の活動にできるだけ参加していただきたいというのは、職員に対しても当然同じこととさせていただきます。行政以外の方でも、それぞれの分野で能力発揮できる場所があるかと思っておりますので、そういった地域活動に参加していただくようにお伝えしていくことは、これからも続けていきたいと思っております。</p>
3 その他	
光延会長	<p>それでは、その他ということで事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>それでは今後の予定をご連絡させていただきます。</p> <p>委員の皆さまの任期は、本日をもって終了となります。本市の行財政改革推進に当たり、皆さまから貴重なご意見・ご助言いただきましたことを感謝申し上げます。</p> <p>委員改選の手続きにつきましては、順次進めてまいります、引き続き、本市の市政運営にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>また、次期委員に関しましては、各団体へ改めて委員の推薦を依頼させていただくとともに、公募委員を 8/1(火)から 8/31(木)までの期間で募集する予定です。</p> <p>なお、次回の会議につきましては、「浜田市公共施設再配置実施計画 令和 5 年度版別冊」を議題として 11 月ごろに開催する予定としております。以上です。</p>
光延会長	<p>それでは、最後に副市長から挨拶をいただきます。</p>
砂川副市長	<p>本日は大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>まずもって、委員の皆さまには 2 年間行財政改革推進委員を務めていただきまして誠にありがとうございました。また、新たな委員の選任になると思いますが、できればこれまでの経過が分かる皆さまにまたご参加いただければ良いのではないかと考えております。中々厳しいご意見をいただきますが、そういう意見をしっかりと受け止めて仕事をするのが当たり前だと思っておりますので、ぜひこれからもご意見いただきたいと思っております。</p> <p>今まちづくり推進委員会の準備を進めておられるということで、市も設立に向けて支援を行い、現在、浜田地区と石見地区だけが組織率 100%となっておりませんので、なんとか目標をクリアしていきたいと思っております。また、市の職員の地域活動への参加につきましては、以前から言われており中々良い答えができていません。先ほど現在の状況を数字で示してほしいというお話をいただきましたが、そういったことも共有しながら、活動へ参加していくべきだということを声がけしていきたいと思っております。</p> <p>また、副会長から三つのご提言をいただきました。参考にさせていただき、これから DX の取組を行っていききたいと思っております。その他にもいろいろと貴重な</p>

	<p>ご意見をいただきました。行革は一つの手段であり目的ではございません。皆さまから頂いた色々な取組、ご提案いただいたものを実行することによって、浜田市の目標としている皆さまが住みよいまちづくりに持っていくことができると思っております。今後ともご意見ご指導いただければと思います。ありがとうございました。</p>
光延会長	<p>以上もちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>

(14時40分閉会 所要時間 1時間15分)